



## 【長野】

### 大町舞台に恋愛小説 作家畑野智美さん執筆

ツイート 12

BI 0

チェック

おすすめ 8

+1 0

2013年10月5日

文芸雑誌「小説新潮」の企画「恋人の聖地特集」で、大町市を舞台にした恋愛小説が掲載されることになった。4日、執筆する東京都の作家畑野智美さん（34）が大町市役所を訪れるなど、市内を取材して回った。有名作家7人が書き下ろした小説が掲載される特集号が、11月下旬に発売される。

大町市は四月、静岡市のNPO法人地域活性化支援センターが進める恋人の聖地プロジェクトで、聖地に認定された。大町市が小説新潮を発行する新潮社とセンターのこの企画に応募したところ、畑野さんが大町市を舞台に選んだ。

市役所を訪れた畑野さんは「大きな建造物が好きで、黒部ダムを見るいい機会になると思った」と選んだ動機に触れた。小説には黒部ダムで難工事だった関電トンネルの歴史なども盛り込む予定。「ダム工事の起点にある街というものを感じた。住んでいる人も気付かない良いところを書けたらいい」と意欲を見せた。

牛越徹市長は市の魅力を語り、「山や水など市民にとってかけがえのないもの。筆の力で素晴らしさを伝えてほしい」と期待を寄せていた。

（吉田幸雄）



大町市を舞台に書く恋愛小説に意欲を示す畑野さん＝大町市役所で